

2017年12月15日
(29-28)

「消費トレンド予測2018」発表

～2018年は自分維新！元気な社会で軽やかな生活を送りたい～

株式会社東急エージェンシー(本社：東京都港区 代表取締役 社長執行役員：澁谷尚幸)は、多様な生活者の嗜好の変化を元に、「消費トレンド予測2018」を発表いたしました。

生活者自身を中心とした「自分観」「生活観」「社会観」という、3つの観点における嗜好の変化に顕著な違いがありましたので、その傾向をご紹介します。

＜嗜好の変化から見えてくる2018年の消費トレンド傾向＞

2018年の自分観 ～ どんな自分になりたいか

■「脱皮して新しい自分になりたい」

「自分らしさ」や「好き」から生まれる可能性をセルフプロデュースしていく時代が到来。企業視点においても、いかに生活者に「好き」の感情を喚起できるか。そこには嘘のないリアルな情報やLive感の提供が重要です。

2018年の生活観 ～ どんな生活を送りたいか

■「詰め込まず軽やかな生活を送りたい」

“便利で快適な生活の追求”にやや疲れが見える生活者たち。自分や家族にとって本当に必要な商品やサービスを選び、本当に好きな活動にお金をかける。不必要なものを明確にして得られる、余白のある生活が求められます。

2018年の社会観 ～ どんな社会に暮らしたいか

■「元気でパワフルな社会に暮らしたい」

景気の好転を実感できない現実と、自然や隣国の脅威、政治の問題、働き方や子育てへの課題等々不透明な不安定さへの実感に、生活者たちは、日々蓄積された疲れを払拭させ、元気になれる強力なパワーを社会に求めています。

嗜好の変化は、株式会社富士ゼロックスが提供する「嗜好モデル」を活用して分析しております。

「消費トレンド予測2018」に関するお問い合わせ先
マーケティングイノベーションセンター ストラテジックプランニング局開発部 担当：寺園 清水
TEL 03-3475-5031